

在宅医療と介護の円滑な連携に向けて

(1) 地域における社会資源の把握と課題の分析

- 収集・公表されている事項をできるだけ活用して、現状を把握する
- グループワークの成果や相談窓口の対応を整理して、課題を分析する

(2) 課題を評価する指標と目標の決定

- 経時的もしくは横断的に課題が評価できる指標について検索する
- ストラクチャー、プロセス、アウトカムの3つの切り口で数値化する
- 数値目標について、「いつまでに」「どこまで」達成するかを決定する

(3) 目標の達成にむけた対応策の検討

- 多職種協働のみならず、住民参加の視点を加えて総合的実現をめざす
- 既存の施策や計画がないかを確認し、既存のものがあるなら活用する
- 実施する対応策について、どのような副反応が発生するかを検討する

(4) 対応策の実施と進捗の評価

- 目指すべき姿を念頭におき、課題が解決に向かっているかを評価する
- 進捗状況が芳しくない場合には、達成できなくなった原因を考察する
- 目標設定が適切でなかった場合には、実情を踏まえて修正を検討する



沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科医長  
日本医師会総合政策研究機構 非常勤研究員

高山義浩先生

〈講演スライドより一部抜粋〉



カルチャーで支える  
地域包括ケアづくりが鍵!

MASANORI HATAKEYAMA  
山口県立総合医療センター  
へき地医療支援部 診療部長  
公益社団法人地域医療振興協会  
理事・山口県支部長

原田 昌範

本研修会の前に「第65回山口県公衆衛生学会」が開催され、特別講演は高山義浩先生でした。大会長であるへき地医療支援部の同僚、中嶋裕氏(山口県周南健康福祉センター長)から、学会が平日の日中なので、仕事や学校で参加できない皆さんにも高山先生のお話を聞く機会を作りたい、そして県内の関係者と一緒に「地域包括ケア」について考えてみたいと相談を受け、作戦会議を重ねました。学会の特別講演のあとにも関わらず「快活いただきました高山義浩先生、地元の好事例をご紹介くださった石川京子さん、河野浩子さん、後援として座長を担当してくださった喜多洋輔先生には、主催者を代表し、心より感謝申し上げます。県内各地より学生さんを含む多くの方にご参加いただき、終了後の懇親会も含めて、盛会のうちに無事に終わることができ大変嬉しく思います。高山先生の講演で印象的だったのは「システム」と「カルチャー」の違いでした。「地域包括ケアシステム」というと何かガチガチの「システム」をイメージしがちですが、「カルチャー」つまり「文化」として捉え、地域住民とともに「文化を醸成」し、支えていくことが重要であることを学びました。一石を投げられた熱い夜でしたが、この会をきっかけにそれぞれの地域で何か動き出していくことを期待しています。



研修報告書の  
使い方

YUTAKA NAKAJIMA  
山口県立総合医療センター  
へき地医療支援部  
部長

中嶋 裕

本研修会が目指した所は、「色々な人が集うきっかけ」と「共通の話を共有すること」でした。それが、もしより良い方向性を見出すヒントになればというのが淡い期待です。報告書は、その手助けになればという期待を込めて、オダムラデザイン(織田村一成さん)とへき地医療支援部と一緒に作成しました。当日研修会に参加された皆さんにとっては、当日の演者の語り口や雰囲気を感じながら、研修会を思い出せるように。そして各職場に戻った時に、同僚にこの報告書を見せて頂きながら語って頂けるようにしました。そして当日参加できなかった方にも、研修会のアウトラインや参考図書などの情報も掲載していますので、今後の手がかりになるようなキーワードや資料になることを期待しています。この報告書が、手に取られている方の今後の活動に参考になり、引いては地域に暮らす方々にとって少しでも役に立つことがあれば望外の喜びです。基調講演頂きました高山義浩先生には、その温かい目線と確かなデータを示して頂きながら、地域包括ケアへの非常に大切なメッセージを伝えて頂きました。また、萩市、周南市の第一線でご活動されている石川京子さん、河野浩子さんには、活動報告とその中での課題を情報提供して頂きました。地域を越えて分かり合える共通のテーマまた地域ごとに違う実情も共有することができました。大変お忙しい中にも関わらず貴重な時間を頂きましたお三方には、心より感謝申し上げます。

独立行政法人 山口県立病院機構  
山口県立総合医療センター

へき地医療支援センター(へき地医療支援部)  
〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地 TEL 0835-22-4411

主催:公益社団法人地域医療振興協会山口県支部  
山口県立総合医療センター へき地医療支援部  
後援:山口県

地域包括ケアを  
考える  
診る  
市町・県行政と  
医療・介護が取り組めること  
取り組むべき視点

STRUCTURING  
COMMUNITY-BASED  
INTEGRATED CARE

山形県立総合医療センター  
へき地医療支援センター(へき地医療支援部)